

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-122241

(43)公開日 平成 6 年(1994) 5 月 6 日

| (51)Int.Cl. ⁵ | 識別記号 | 序内整理番号 | F I | 技術表示箇所 |
|--------------------------|------|---------|-----|--------|
| B 4 1 J 17/32 | A | 9211-2C | | |
| 32/00 | A | 9012-2C | | |
| 35/36 | | 9012-2C | | |

審査請求 未請求 請求項の数 3 (全 4 頁)

(21)出願番号 特願平4-274033

(22)出願日 平成 4 年(1992)10月13日

(71)出願人 000005108

株式会社日立製作所

東京都千代田区神田駿河台四丁目 6 番地

(72)発明者 奥宮 誠司

茨城県勝田市大字稲田410番地株式会社日立製作所 A V 機器事業部内

(72)発明者 高田 正美

茨城県勝田市大字稲田410番地株式会社日立製作所 A V 機器事業部内

(72)発明者 小沢 直弘

神奈川県横浜市戸塚区吉田町292番地株式会社日立製作所映像メディア研究所内

(74)代理人 弁理士 小川 勝男

(54)【発明の名称】 インクリボンカセット

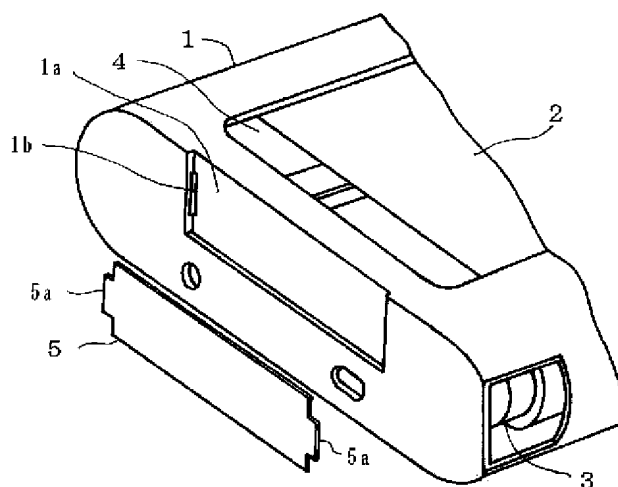
(57)【要約】

【目的】リサイクル性にとんだインクリボンカセットを提供する。

【構成】カセットケース 1 の表示ラベル 5 の装着用凹部 1 a に表示ラベル 5 と係合可能な穴部 1 b または凸部を設け、簡単にカセットケース 1 と表示ラベル 5 を取外し可能に構成するか、もしくは表示ラベル 5 の外形に略沿った V カット溝または穴部の切り離し手段をカセットケース 1 に設ける。

【効果】表示ラベルが糊のついたシールや印刷等により設けられた場合であっても、カセットケースと表示ラベルとを特殊な器具を必要とせず容易に分離することができ、使用済カセットケースのリサイクルを容易なものとすることができる。

図 1



【特許請求の範囲】

【請求項1】インクリボンを巻き回した供給スプールと、該供給スプールからくり出されたインクリボンを巻取る巻取りスプールと、前記供給スプールと前記巻取りスプールを所定距離はなして回転可能に収容するケースと、該ケースに設けられ前記インクリボンの種類等を表示する表示部とより成るインクリボンカセットにおいて、前記ケースは前記表示部を装着保持する凹部または凸部を備えていることを特徴とするインクリボンカセット。

【請求項2】前記ケースは前記表示部のみを簡単に切り離す切り離し手段を備えていることを特徴とする請求項1記載のインクリボンカセット。

【請求項3】前記切り離し手段は前記表示部外形に略沿った少なくとも片側がV字状の断面をもつVカット形状もしくは、少なくとも所定距離ごとに穴部が設けられた形状であることを特徴とする請求項2記載のインクリボンカセット。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、サーマルヘッド等の記録ヘッドにてインクリボン上のインクを記録紙に熱転写記録を行う感熱転写型プリンタに用いるインクリボンカセットに関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来のインクリボンカセットは、図7、図8に示すようにインクリボン2の種類等を表わす表示ラベル5、5b、5cがカセットケース1の外側に糊のついたシールや印刷等により配設されていた。なお、この種のインクリボンカセットとして関連するものには例えば実開平1-132750号公報、実開平3-29367号公報が挙げられる。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】通常この種のカセットケースはポリスチレン等のプラスチック成型品にて製造されており、また表示ラベル等は前述した様に印刷が施されたシール状の紙や印刷が用いられている。

【0004】上記従来技術は、使用済のカセットケースをリサイクルする点には配慮がされておらず、リサイクルする上で前記表示ラベル等が不純物となり再生を困難なものとする問題があった。また一方、再生時に前記表示ラベル等を取り除こうとしても糊のついたシール部や印刷部は簡単に切り除くことができないという欠点があった。

【0005】本発明の目的は、使用済のカセットケースを特殊な器具を必要とせず簡単に不純物のない再生材料と表示ラベル等に、分離できるリサイクル性にとんだインクリボンカセットを提供することにある。

【0006】

【課題を解決するための手段】前記目的を達成するため

の本発明の代表的な手段は、カセットケースの表示ラベル装着部を該表示ラベルと係合可能な凹部または凸部に構成してなる。

【0007】また、前記表示ラベル外形に略沿った少なくとも片側がV字状の断面をもつVカット形状もしくは、少なくとも所定距離ごとに穴部が設けられた形状で前記表示ラベルとともに前記カセットケースの一部を簡単に切り離す切り離し手段を設けてなる。

【0008】

10 【作用】前記手段にあつては、使用済のカセットケースをリサイクルする際には表示ラベルをカセットケースの係合部より取り外すだけで、カセットケースと表示ラベルとを簡単に分離することができ各々の再生を容易なものとする事ができる。

【0009】また、前記表示ラベル等が糊のついたシールや印刷等により設けられた場合でも、特殊な器具を必要とせず簡単にカセットケースと表示ラベル等に、分離でき最大限のリサイクルを可能とすることができる。

【0010】

20 【実施例】以下、本発明の一実施例を図1から図6により説明する。

【0011】図1及び図2は本発明のインクリボンカセットの一部上面斜視図である。1はカセットケース、2はインクリボンで供給スプール3と巻取りスプール4に回転駆動可能に張懸されている。図1でカセットケース1には表示ラベル5が装着される凹部1aと、表示ラベル5に設けられた一対の凸部5aと係合可能な一対の穴部1bが設けられている。表示ラベル5はその弾性を利用してカセットケース1に取り付けられる。尚、穴部1bは凹形状としても良い。

30

【0012】図2は、凹部1aに表示ラベル5を係合する一対の凸部1cを設けた場合を示す。この時、表示ラベル5（図示せず）は図1の様な凸部5aを持たなくてもよい。

【0013】尚、図1、図2ではカセットケース1の表示ラベル5の取付部を凹部とし、その係合部を一対で表示ラベル5の長手方向としているが特に凹部とする必要はなく、また短手方向で係合部を複数ヶ所設けたり、図1と図2の複合形態であっても良いことは言うまでもない。

40

【0014】図3は、インクリボンカセットの下面斜視図で、図4、図5はその一部詳細図、図6は一部断面図を示す。

【0015】図3から図6は、表示ラベル5が糊のついたシールや印刷等により設けられた場合の本発明の一実施例を示す。図4は、カセットケース1に表示ラベル5の外形に沿った片側がV字状の断面をもつVカット溝1dを持った場合を示す。Vカット溝1dは、図6に示す様に両側に設けても良い。

【0016】図5は、カセットケース1に表示ラベル5

3

4

の外形に沿った形状で穴部1eを設けた例である。尚、穴部1eは、図5の様に複数ヶ所持たなくても良い。

【0017】ここでも前記と同様、図4から図6の複合形態であっても良いことは言うまでもなく、さらに表示ラベル5の設置位置は図1等いずれの所でも同様である。

【0018】実施例では図示しなかったが、表示ラベル等とは異なりカセットケース部にケース部とは異なる材質等のものを具備している部分においても同様に構成することが可能である。

【0019】

【発明の効果】本発明によれば、表示ラベルが糊のついたシールや印刷等により設けられた場合であっても、カセットケースと表示ラベルとを特殊な器具を必要とせず容易に分離することができ、使用済のカセットケースをリサイクルする際にはその再生を容易なものとしことができその効果は多大である。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のインクリボンカセットの一部上面斜視図

図である。

【図2】同じく一部上面斜視図である。

【図3】インクリボンカセットの下面斜視図である。

【図4】その一部詳細図である。

【図5】同じくットの一部詳細図である。

【図6】その一部断面図である。

【図7】従来例におけるインクリボンカセットの上面斜視図である。

【図8】従来例における下面斜視図である。

10 【符号の説明】

1…カセットケース、

1b…穴部、

1c…凸部、

1d…Vカット溝、

1e…穴部

2…インクリボン、

3…供給スプール、

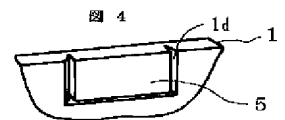
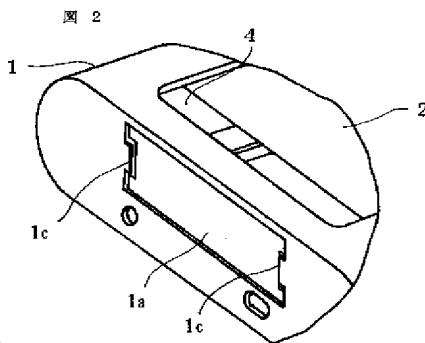
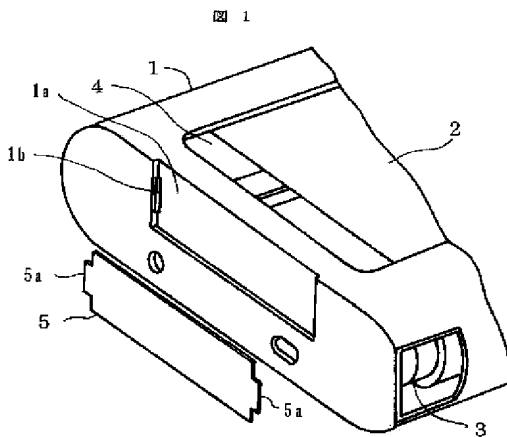
4…巻取りスプール、

5…表示ラベル。

【図1】

【図2】

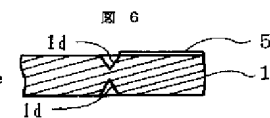
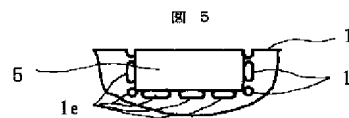
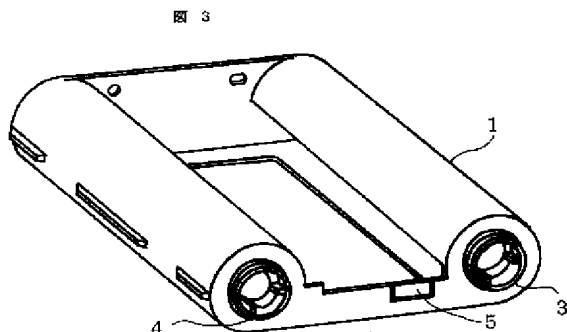
【図4】



【図3】

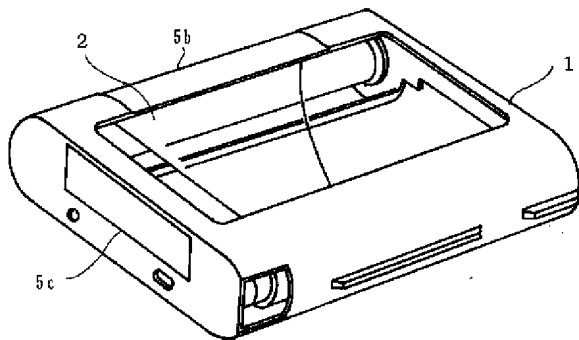
【図5】

【図6】



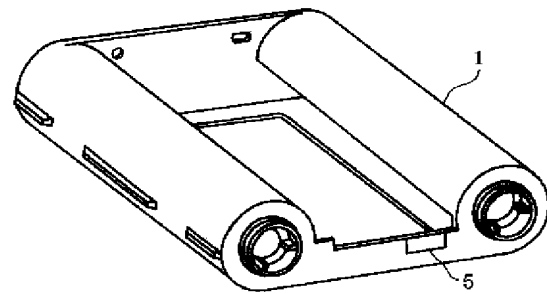
【図7】

図 7



【図8】

図 8



PAT-NO: JP406122241A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 06122241 A
TITLE: INK RIBBON CASSETTE
PUBN-DATE: May 6, 1994

INVENTOR-INFORMATION:

| NAME | COUNTRY |
|----------------|---------|
| OKUMIYA, SEIJI | |
| TAKADA, MASAMI | |
| OZAWA, NAOHIRO | |

ASSIGNEE-INFORMATION:

| NAME | COUNTRY |
|-------------|---------|
| HITACHI LTD | N/A |

APPL-NO: JP04274033
APPL-DATE: October 13, 1992

INT-CL (IPC): B41J017/32 , B41J032/00 , B41J035/36

US-CL-CURRENT: 400/208 , 400/247 , 400/513

ABSTRACT:

PURPOSE: To facilitate reuse of an ink ribbon cassette case already used for recycling, providing the cassette case with a recessed or projecting part to which a part indicating the kind of an ink ribbon and the like is fitted to be held therein.

CONSTITUTION: A cassette case 1 is provided with a recessed part 1a to which an indicating label 5 is fitted and with a pair of hole parts 1b which can engage with a pair of projecting parts 5a provided in the indicating label 5. The indicating label 5 is fitted to the cassette case 1 by using the elasticity thereof. An ink ribbon 2 in the cassette case

1 is stretched round on a supply spool 3 and a takeup spool 4 so that it can be driven to rotate. In the case when the indicating label 5 is a seal with paste or is provided by printing or the like, a V-cut groove 1d of which one side along the outside of the indicating label 5 has a V-shaped section is provided in the cassette case 1.

COPYRIGHT: (C)1994,JPO&Japio